

# スポーツ振興への取り組み

様々なスポーツ活動への積極的な支援を通じて、スポーツや地域社会の発展に貢献します。

## 「Tリーグ」オフィシャルパートナー

一般社団法人Tリーグの「世界No.1の卓球リーグを実現する」「卓球のスポーツビジネス価値を高める」「卓球を通じて人生を豊かにする」という理念に賛同し、2018年から卓球リーグ「Tリーグ」のオフィシャルパートナーとなりました。

当社は今後も、未来のアスリートの育成、卓球文化の振興活動の支援を行ってまいります。



## TOPICS

### ノジマTリーグ 2024-2025シーズン プレーオフの男子セミファイナルに協賛

ノジマTリーグ 2024-2025シーズン プレーオフの男子セミファイナルに協賛し、2025年3月22日、代々木第二体育館にて「東亜合成 presents 男子セミファイナル」が開催されました。当日は1,000名を超える観客が来場し、T.T彩たま 対 岡山リベッツの白熱した戦いを見守りました。

また、試合の冒頭には高村会長が始球式を担当し、岡山リベッツの吉山和希選手とのプレーで会場を大いに盛り上げました。



始球式



会場の様子

## 「いわきFC」協賛

広野工場は、J2リーグに加盟する福島県のプロサッカークラブ「いわきFC」と2022年からパートナーシップ契約を締結しており、応援しています。



私たちは **IWAKI FC** を応援しています。

## 「MINATOシティハーフマラソン2024」協賛

「MINATOシティハーフマラソン2024」が、2024年11月17日（日）に開催されました。本大会は、多くの区民が参画できるスポーツを通じた地域共生社会の実現を目的として、2018年から港区マラソン実行委員会が主催し実施されています。

当社も東京都港区に本社を置く企業として、社会貢献および健康経営推進の観点から第1回大会から本大会に協賛しており、現在は最上位のプラチナ協賛会社となっています。

# SPECIAL INTERVIEW

スペシャルインタビュー

## 苦しいときも諦めずに前進し続ける、その決意こそ世界で闘う最大の武器

柔道男子100kg級  
ウルフ アロン さん

### プロフィール

1996年生まれ東京都出身。祖父の勧めで幼少期に柔道を始め、2017年世界選手権、2019年全日本選手権で優勝。2021年東京オリンピックで金メダルを獲得し史上8人目の柔道三冠を達成。柔道の普及・PRのために率先してメディア出演も行い、ユーモアあふれる飾らない人柄で人気を博す。2025年6月で柔道を引退。

Aaron Phillip Wolf

2021年に金メダリストとなり、史上8人目となる「柔道三冠」※を達成したウルフ アロンさん。2021年に、「そろそろCMIに出演させてください」とSNSに投稿したことがきっかけとなり、かねて同じ名前に「親近感」を持っていたというアロンアルファのTVCMに出演いただきました。思いがけぬ縁でつながったウルフ アロンさんから、東亜合成グループレポート2025に寄せる特別コメントをいただきました。

※ 柔道三冠=全日本選手権、世界選手権、五輪すべてで優勝すること

東亜合成さんが製造するアロンアルファには、名前が同じということで、幼い頃からシンパシーを感じていました。金メダリストとなること、そしてアロンアルファのCMIに出演すること。この2つを達成できた2021年は、自分の人生の大きな節目となりました。



アロンアルファという製品は「強さ」を象徴する存在だと思っています。そのCMIに出るからには、自分自身も強い選手でなければならない。そう思って練習に励んだ日々でした。

長い選手生活では、苦しい時期も過ごしてきました。2018年に左膝の半月板を損傷し、2019年には右膝の半月板も損傷しました。右膝の損傷した半月板は切除をし、怪我をする前の自分には、どうあがいても戻ることはできません。ただ、怪我をしたから勝てないと諦めてしまったら、選手としての進化も前進もなくなってしまいます。無いものを求めるのではなく、今の自分の体をどう使うか、これまで積み上げてきたものをどう発展させ、相手を上回る柔道をするか。そう考えることの大切さを学んだのも、この怪我の経験を通してでした。

東亜合成の小淵秀範社長は、「どのような困難に直面しても、前に進む道は必ずある」という姿勢を社員に伝えています。

このマインドは、私が柔道を通じて学んできたものと深く通じるところがあると感じます。逆境で立ち止まってしまうと、その先はありません。どんな困難な状況でも諦めることなく、目標の解像度を高め、そこに向けて前進するための努力を続けられれば、道はきっと拓けてくと私も信じています。

私は2025年6月に柔道の選手としては引退をしますが、新しいチャレンジを重ね、常に新しい自分、前に進み続ける自分でありたいと考えています。

そして、同じ名前を持つアロンアルファ製品、そして同じ想いを抱く東亜合成さんとは、これからもよき同志として切磋琢磨していきたいと思っています。